

放課後等デイサービス 夢門塾戸塚原宿 自己評価表

記入日:	2024 年 1 月 25日
事業所名:	児童発達支援 夢門塾戸塚原宿

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	5	1	0	部屋の模様替えをしたり、広く利用できるように工夫している。
	②	職員の配置は適切である	4	3	0	適切である。
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	0	0	次亜塩素酸水での消毒等を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	3	4	0	活動、対応については意見交換ができています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4	2	0	保護者様のご意見を職員全体で共有し、今後業務改善につなげていく。面談等を順次行っていく予定。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4	2	0	ホームページにて公開されている。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	1	0	社内・社外の研修に参加している。参加できなかった職員にも後日情報を共有している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	3	4	0	児発管不在期間中は課題の更新ができない為
	⑨	活動の計画をチームで行っている	7	0	0	レクリエーションに関しては常勤で大まかに決め、非常勤にも配置、声掛けなどでアドバイスをいただいている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	7	0	0	子ども達からもレクリエーションに関して意見を募ったりしている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	7	0	0	どの活動にもコンセプト(発達支援目標)を立てて行っている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6	1	0	送迎前、後での今日の様子などをこまめに共有したり、次の日の日誌などの記録で確認してもらっている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	送迎前、後での今日の様子などをこまめに共有したり、次の日の日誌などの記録で確認してもらっている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	支援記録をしっかりと付けている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	1	5	0	児発管着任に伴い順次取り組んでいきます。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	4	3	0	ガイドライン、支援計画双方確認していく

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	0	保護者様にも協力をいただいている
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	2	2	児童発達支援と連携できている 児発以外では該当する案件が無い
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	1	4	2	今後挨拶回りや訪問の計画をしていく
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	1	現時点では主に社内研修のみ、今後案内が来た際に参加を検討
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	7	0	0	学校へのお迎え時、帰りの送迎時に学校、家庭とそれぞれお話をしている
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	7	0	0	支援内容についてはコンセプト、また保護者様にできるようになった事や苦手なことなども改めてヒアリングを行い、今後の支援に活かせるよう情報を頂いたり、共有を行っている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	7	0	0	面談の要望があった際にしっかりと対応をさせていただいた
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	4	3	コロナ禍だった為、開催しなかった
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	適切に対応、またご相談をさせていただく。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4	3	0	ブログのQRコードを夢通信に添付、情報発信に繋げていく
	㉗	個人情報保護に十分注意している	7	0	0	顔写真NGなど逐一確認、加工などを行っている
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	言葉遣い、伝え方に配慮している
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	1	5	コロナ禍等で開催が無い。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	7	0	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7	0	0	半年に1度、活動に盛り込んでいる
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	0	エリア会議にて該当ケースが無かったか確認報告を行っている
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	7	0	0	契約時に確認。また、実際に該当行為があった際にお伝えをするよう周知している(現時点では身体拘束案件が無い)
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	3	2	1	投薬・薬の預かり等、該当する案件が無い
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4	2	1	確認も併せて行っている

保護者様評価、自己評価についてまとめ

保護者様と共に情報の共有を図ることができているため、引き続き取り組みをしていく。保護者様の不安感に寄り添いながらの関わりをスタッフ全員が意識できるようにしていく。
中途入社の職員も多数いるため、再度書類の説明や取り組みを確認していくことで、職員全員が同じ理解のもと業務に就けるようにしていく。